

随意契約の相手方及び理由等(物品関係)

区 分	内 容 等	備 考
契 約 年 月 日	令和8年6月29日	
契 約 件 名	SuperKEKB,BT,DR安全管理システム定期保守点検 一式	
契 約 金 額	7,010,300円	
契 約 の 相 手 方	東京都品川区西五反田2-12-19 (株)アクシオ	
問 合 せ 先	財務部契約課契約第四係 Tel 029-864-5168	
随意契約の適用条項	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 契約事務取扱規則第32条第1項第1号	契約の性質又は目的が競争を許さないとき
契 約 の 概 要	SuperKEKBは長期間連続で運転されるため、安全管理システムは安定した運用を維持される必要性があり、加速器稼働中に安全管理システムを停止することはできない。また、SuperKEKB,BT,DR加速器安全管理システムはLinac,PF-AR等の他の加速器とも深く関わっており、安全管理システムの停止・誤動作は、他の加速器の運転に大きな影響を及ぼすこととなる。 安全管理システムは基本的性能として、長期間に渡り正常に稼働することが強く求められ、その高い信頼性はこの安全管理システムの保守・点検なくして確保することは不可能である。このため、長期に加速器が停止する期間に安全管理システム全般について保守・点検を行っている。 本件は、安全管理システムの定期保守点検に関するものであり、安全管理システム全体の中の広範な項目について行う。	
随意契約の理由	本件の安全管理システムは昭和電線(株)がケーブル敷設も含め構築し、その後の保守点検も行っていたが、昭和電線(株)の事業縮小に伴い現場部門が無くなった際に、昭和電線(株)のネットワーク関係を担当していた子会社の(株)アクシオが事業を継承している。 同社はその後各加速器全ての安全管理システムの改造や改修、保守を長年行っている実績があり、各加速器の安全管理システムの構造とそれらの関係性及び特性等詳細まで熟知し、それらの資料を有している唯一の企業である。つまり、適切な保守を行うことができるに足る技術と信頼性を有する企業は、(株)アクシオを置いて他にはない。 また、同社が保守点検を行うことにより、製品の責任の一貫性を保つことができる。 以上の理由により、本件は(株)アクシオを契約相手として選定し、随意契約とする。	